

「第3次豊中アジェンダ 21 改定版」2024 年度評価

<評価の対象・項目>

- ・「第3次豊中アジェンダ 21 改定版」では、望ましい環境都市像のテーマごとに、毎年実績を検証・評価し、総会にて公表している。

評価項目	関係	頻度	公表の方法
環境目標	環境基本計画と共有	毎年	豊中市環境報告書
行動提案		毎年	とよなか市民環境会議 総会

- ・評価項目や個別の評価指標は、状況に応じて追加・見直しをしながら運用している。

項目	評価指標
①統計や行政の行動の指標	行動提案と一緒に記載の評価指標
②市民・事業者の行動の指標	
③構成団体チェックシート	行動提案の平均実施率
④市民の取組みの質的な評価	文章を作成して表現
総合評価	

※一部のテーマでは適当な取組みがないため、市民・事業者の行動の指標を設定していない

<評価の記載方法（総合評価のまとめ）>

関連する SDGs の主なテーマ		望ましい環境都市像		総合評価 の結果	(参考) 昨年度 の結果
16 平和と公正を すべての人に  17 パートナリシップで 目標を達成しよう 	平和と公正を すべての人に	市民参加・ 協働	地域の環境活動に市民・事業者が参加 し、行政とともに協働で取り組むまち	B (5 点)	C
	パートナーシップで 目標を達成しよう				
12 つくる責任 つかう責任 	つくる責任 つかう責任	人にやさしい	多様な世代が地域の中でつながり、安全・ 安心に住み続けやすいまち	C (0 点)	C

テーマごとの総合評
価の結果を記載

昨年度の結果と
比較できます

}

}

2024 年度 総合評価のまとめ	1.3 点 ※全テーマ の平均	2.1 点
B 評価が 4 つ、C 評価が 7 つ、D 評価が 1 つで、前年度よりも B 評価が 1 つ減り、 D 評価が 1 つ増えました。（以下略）		

まとめの内容を
文章にてコメント

テーマごとの総合評価の結果を点数化
し、平均した値を－10 点～10 点で掲載
※プラスの値：進捗とみなす

＜評価の記載方法（各テーマごとの総合評価）＞

数値がプラスになった方が良い指標は増加、マイナスになった方が良い指標は減少としています

直近の数値（2024）について、前年度（2023）からの増減を表しています

項目	指標名	めざす方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の行動の指標	とよなか市民環境会議の構成団体数	増加	133 団体	129 団体	129 団体	0 団体
	豊中 SDGs パートナーの登録団体数	増加	108 団体	107 団体	140 団体	33 団体
②市民・事業者の行動の指標	市民、事業者の環境活動の取り組み事例数	増加	58 件	54 件	—	△4 件

市民の状況を文章で説明し、3 段階で評価をします

評価指標のうち、今回から追加・訂正した内容に【新規指標】と記載し下線を引いています

2024 年度の数値がない場合は網掛けをし、「—」と記載しています。この場合、2023 年度の数値について 2022 年度からの増減を表しています

④市民参加の質的な評価	豊中市の協働事業市民提案制度において、市民団体から環境活動にも関連する新たな提案があり、2024 年度から事業が開始しました。本事業では千里文化センターコラボ内のテトラポットカフェで子ども服リユースや廃油の回収など環境に関する取組みを行っています。	◎
【市民参加・協働】の総合評価		B
＜総合評価の補足説明＞ ・めざす方向に向かっている指標が多いことから「B」と判断しました。		

＜数値等の引用や作成＞

指標の数値に現れない説明などを記載し、総合評価の際に考慮しています

①～④の評価を総合し、5 段階で評価をします

- ・①豊中市（行政）が主に把握している数値。
- ・②NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、および豊中市が把握している市民の取り組みの数値。
- ・③とよなか市民環境会議の構成団体（129 団体）を対象に、2025 年 3～4 月に行動提案チェックシートの照会を実施し、64 団体が回答。
- ・④とよなか市民環境会議で作成。

＜評価の手順＞

- ・①②でテーマごとに設定している指標の数値を各年度に入れる。
③は構成団体から回答された実施率を計算し、各年度に入れる。
- ・直近の数値（2024 年度）について、前年度（2023 年度）と比較し、前年度からの増減を記載する。
増減の割合に応じて評価する。
※直近の数値が把握できていない場合は、前年度（2023 年度）と前々年度（2022 年度）の数値を比較。
- ・④は①～③以外の内容について、市民の活動状況を文章で説明して評価する。
※文章の内容を、良い◎・普通○・課題がある△の 3 段階に換算して表現する。
- ・①～④の評価を総合し、5 段階で評価する。
※高い評価 A・評価できる B・普通 C・少し課題がある D・とても低い評価 E
※評価の際には、＜総合評価の補足説明＞の内容を考慮する。

- ・テーマごとの A～E の総合評価を点数に換算する（A：10 点、B：5 点、C：0 点、D：-5 点、E：-10 点）。
- ・換算した点数の平均を計算し、10 点満点で評価する。（※小数第 2 位を四捨五入する）
- ・10 点満点の数値がプラスであれば、望ましい環境都市像の実現に向けて進捗をした、また、数値がマイナスであれば、望ましい環境都市像の実現に向けて後退したとみなす。

<2024 年度 総合評価のまとめ>

関連する SDGs の主なテーマ		望ましい環境都市像		総合評価 の結果	(参 考) 昨年度 の結果
16 平和と公正を すべての人に  17 パートナリシップで 目標を達成しよう 	平和と公正を すべての人に	市民参加・ 協働	地域の環境活動に市民・事業者が参加 し、行政とともに協働で取り組むまち	B (5 点)	C
	パートナーシップで 目標を達成しよう				
12 つくる責任 つかう責任 	つくる責任 つかう責任	人にやさしい	多様な世代が地域の中でつながり、安全・安心に住み続けやすいまち	C (0 点)	C
11 住み続けられる まちづくりを 	住み続けられる まちづくりを	まちづくり	地域活動が活発で、地域の特徴に応じたまちづくりができるまち	C (0 点)	C
4 質の高い教育を みんなに 	質の高い教育を みんなに	環境学習・ 環境教育	みんなが環境についてともに学び、行動に取り組むまち	C (0 点)	C
13 気候変動に 具体的な対策を 	気候変動に 具体的な対策を	地球環境	地球温暖化を今よりも進めないため、自分にできることから取り組むまち	C (0 点)	B
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	エネルギー	くらしの中で省エネルギーを意識し、みんなで自然エネルギーの導入に取り組めるまち	C (0 点)	B
11 住み続けられる まちづくりを 	住み続けられる まちづくりを	交通	歩きやすく、自転車で走りやすく、公共交通の便利なまち	B (5 点)	B
1 貧困を なくそう 	貧困を なくそう	省資源・ 循環型社会	ごみになるものを減らし、資源として循環することができるまち	B (5 点)	B
6 安全な水とトイレ を世界中に 	安全な水とトイレ を世界中に				
12 つくる責任 つかう責任 	つくる責任 つかう責任				
2 飢餓を ゼロに 	飢餓を ゼロに	食・農	地産地消で広がる生き生き農業と、「とよっぴー」を紡いで食育が実感できるまち	D (-5 点)	C
15 陸の豊かさも 守ろう 	陸の豊かさも 守ろう	自然との共生	多様な生き物がすみ、みどり豊かで、水辺に親しむことができるまち	C (0 点)	B
11 住み続けられる まちづくりを 	住み続けられる まちづくりを	歴史・文化	身近なところで、育んできた歴史・文化・景観を感じられるまち	B (5 点)	C

3 すべての人に健康と福祉を  6 安全な水とトイレを世界中に  14 海の豊かさを守ろう 	すべての人に健康と福祉を				
	安全な水とトイレを世界中に	音・水・大気	騒音や有害な化学物質のない、きれいな水や空気があるまち	C (0 点)	C
	海の豊かさを守ろう				
2024 年度 総合評価のまとめ					
2024 年度は B 評価が 4 つ、C 評価が 7 つ、D 評価が 1 つで、前年度よりも B 評価が 1 つ減り、D 評価が 1 つ増えました。評価にあたっては、より現状に合った進捗状況を把握するため、既存の評価指標の見直しを行うとともに、新しく事業を開始した取り組みを測る評価指標を追加しています。2024 年度の総合評価における全テーマの平均は 1.3 点で、前年度の 2.1 点と比べ、目標に向かう進捗幅は減少しましたが、評価結果の数値がプラスであることから、望ましい環境都市像に向かって堅調に進んでいます。				1.3 点 ※全テーマの平均	2.1 点

＜2024 年度 各テーマごとの総合評価＞

【市民参加・協働】地域の環境活動に市民・事業者が参加し、行政とともに協働で取り組むまち

[illegible]

【人にやさしい】多様な世代が地域の中でつながり、安全・安心に住み続けやすいまち

項目	指標名	めざす方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の行動の指標	道路・公園不具合報告件数 「まちカメくん」（上段） <u>【新規指標】市公式 LINE</u> ）（下段）	増加	672 回 119 回	693 回 272 回	476 回 551 回	△217 回 279 回
②市民・事業者の行動の指標						
③構成団体チェックシート	「人にやさしい」の行動提案の平均実施率	増加	63.92%	79.30%	71.88%	△7.42%
④市民参加の質的な評価	豊中つばさ公園の設計にあたり、障害者、高齢者の当事者と市が対話する機会が設けられ、施設利用を具体的に想定した対応策を探り、設計に取り入れられました。					○
【人にやさしい】の総合評価						C
＜総合評価の補足説明＞						
・①「まちカメくん」は、豊中市が管理する道路の損傷などの不具合やごみの不法投棄について通報することができるスマートフォン向けアプリで、2023 年度までは毎年報告件数が増加していましたが、2024 年度に大きく減少しました。これは、豊中市の LINE 公式アカウントの機能に「道路・公園等不具合通報（写真投稿サービス）」があり、そちらの報告が主流になってきたことが原因と考えられるため、市公式 LINE の件数も指標に新たに追加しました。両方をあわせた件数は、2023 年度と比べて増加しています。 ・②市民・事業者の行動の指標であった環境マネジメントシステムの導入事業所数について、「第 3 次豊中アジェンダ 21 改定版」により行動提案の内容に変更があったため、今回から【まちづくり】の指標へと移動しました。これにより、市民・事業者の行動の指標が設定されていない状態となりました。 ・めざす方向に向かっている指標がほぼ同数であることから「C」と判断しました。						

※現時点では、市民・事業者の行動の指標が設定されていません。

【まちづくり】地域活動が活発で、地域の特徴に応じたまちづくりができるまち

[illegible]

【環境学習・環境教育】 みんなが環境についてともに学び、行動に取り組むまち

項目	指標名	めざす方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の行動の指標	出前環境学習の実施回数	増加	61 回	86 回	86 回	0 回
	緑化リーダー養成講座受講者数	増加	33 人	41 人	40 人	△1 人
②市民・事業者の行動の指標	NPO アジェンダ（事業部会）の行事参加者数	増加	73 人	28 人	40 人	12 人
	【新規指標】子ども服リユース「おゆずりぐるり」の登録ボランティア数	増加	2024 から開始		25 人	
③構成団体チェックシート	「環境学習・環境教育」の行動提案の平均実施率	増加	58.33%	50.52%	45.83%	△4.69%
④市民参加の質的な評価	2023 年度まで豊中市の出前講座として実施していた「エコクイズ大会」について、2024 年度も市民から実施の要望があったため、NPO アジェンダが団体の活動として出前講座を実施しました。					○
【環境学習・環境教育】の総合評価						C
＜総合評価の補足説明＞						
・②「人材育成」につながる取組みの 1 つとして、市民・事業者の行動の指標に、2024 年度から新たに開始した「子ども服リユースの登録ボランティア制度の参加人数」を追加しました。 ・めざす方向に向かっている指標がほぼ同数であることから「C」と判断しました。						

【地球環境】 地球温暖化を今よりも進めないため、自分にできることから取り組むまち

[illegible]

【エネルギー】 暮らしの中で省エネルギーを意識し、みんなで自然エネルギーの導入に取り組めるまち

[illegible]

【交通】歩きやすく、自転車で走りやすく、公共交通の便利なまち

項目	指標名	めざす 方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の 行動の指標	自動車保有台数（総数）	減少	152,396 台	150,954 台	150,808 台	△146 台
	カーシェアリングの台数	増加	298 台	346 台	412 台	66 台
	自転車通行空間整備状況	増加	16.79km	20.96km	29.31km	8.35km
	シェアサイクルの利用回数	増加	137,982 回	219,403 回	346,174 回	126,771 回
②市民・事業者 の行動の指標						
③構成団体 チェックシート	「交通」の行動提案の平均実施 率	増加	57.28%	60.35%	58.01%	△2.34%
④市民参加の 質的な評価	全国的に走行距離は増加していますが、市内に登録された自動車 1 台あたりの温室効果ガス排出量は減少傾向にあることから、自動車の低燃費化が進んでいると考えられます。					○
【交通】の総合評価						B
＜総合評価の補足説明＞ ・①阪急バスの利用者数は、2023 年度の数値が判明するのは 2024 年 7 月以降の予定でしたが、2023 年度以降の値が非公表となったため、指標より削除しました。 ・めざす方向に向かっている指標が多いことから「B」と判断しました。						

※現時点では、市民・事業者の行動の指標が設定されていません。

【省資源・循環型社会】ごみになるものを減らし、資源として循環することができるまち

項目	指標名	めざす 方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の 行動の指標	1 人 1 日あたりのごみ量	減少	792g	766g	—	△26g
	1 人 1 日あたりの食品ロス量	減少	110.1g	107.1g	—	△3.0g
	環境関連施設の見学者数	増加	13,699 人	14,741 人	13,839 人	△902 人
②市民・事業者 の行動の指標	豊中エコショップ認定店舗数	増加	186 店	198 店	215 店	17 店
	子ども服リユースの実施回数	増加	5 回	15 回	25 回	10 回
③構成団体 チェックシート	「省資源・循環型社会」の行動 提案の平均実施率	増加	71.32%	66.41%	60.16%	△6.25%
④市民参加の 質的な評価	子ども服リユース「おゆずりぐるり」で、NPO アジェンダの取組みが環境省 のモデル事業に採択され、市内の連携団体等と協力し、1 万着以上の子ども 服の回収・配布を実施しました。豊中市の資源化可能な繊維類について、市 民約 900 人分の削減に寄与しました。					◎
【省資源・循環型社会】の総合評価						B
＜総合評価の補足説明＞						
・めざす方向に向かっている指標が多いことから「B」と判断しました。						

【食・農】地産地消で広がる活き活き農業と、「とよっぴー」を紡いで食育が実感できるまち

項目	指標名	めざす 方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の 行動の指標	「とよっぴー」製造量	減少	94.8t	85.0t	84.9t	△0.1t
	地域産野菜等の学校等給食提供回数	増加	114 回	144 回	113 回	△31 回
	市民農園申込者数	増加	1,366 人	1,298 人	1,229 人	△69 人
②市民・事業者 の行動の指標	「とよっぴー」の購入者数	増加	1,117 人	1,102 人	972 人	△130 人
	地産地消野菜の購入者数	増加	1,336 人	1,522 人	1,468 人	△54 人
	食育学習の回数、参加者数	増加	81 回 1,394 人	114 回 2,125 人	52 回 842 人	△62 回 △1,283 人
③構成団体 チェックシート	「食・農」の行動提案の平均実施率	増加	65.69%	46.56%	44.06%	△2.50%
④市民参加の 質的な評価	庄内コラボセンターでも新たに朝市が開始されるなど、市内の農業者が野菜を納入し、市民が地場産の野菜を購入する機会が増えつつあります。					○
【食・農】の総合評価						D
＜総合評価の補足説明＞						
・「とよっぴー」の購入者数については、把握可能な緑と食品のリサイクルプラザでの購入者数のみ計上しています。2024 年度の購入者数は減少していますが、ショコラ朝市での販売を開始するなど、新たな購入機会を提供することで、とよっぴーの製造量に対し、すべて配布できています。 ・めざす方向に向かっている指標が少ないことから「D」と判断しました。						

【自然との共生】多様な生き物がすみ、みどり豊かで、水辺に親しむことができるまち

項目	指標名	めざす方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の行動の指標	緑被率	増加	調査年ではないため未実施			＝
	特定外来生物措置件数	減少	39 件	27 件	24 件	△3 件
	ツバメのねぐらの飛来数	増加	4,500 羽	6,000 羽	10,000 羽	4,000 羽
	ため池の箇所数	増加	38 か所	38 か所	38 か所	0 か所
②市民・事業者の行動の指標	NPO アジェンダ（自然部会）行事参加者数	増加	623 人	727 人	617 人	△110 人
	自主管理登録団体数	増加	174 団体	169 団体	165 団体	△4 団体
③構成団体チェックシート	「自然との共生」の行動提案の平均実施率	増加	57.32%	52.50%	50.00%	△2.50%
④市民参加の質的な評価	市民調査員による身近な生き物調査では、特定外来生物のオオキンケイギクの分布状況を調べました。加えて、とよなか市民環境展では企画展示で「外来生物」をテーマとし、オオキンケイギクやカシノナガキクイムシについて広く市民に呼びかけました。また、市内各所でキツネの生息が確認されるなど、自然の保全と活用のバランスが引き続き求められており、豊中つばさ公園を整備中の原田緑地では、各方面の意見を聴き、対話を経て、キツネの生息に配慮した計画となりました。					◎
【自然との共生】の総合評価						C
<総合評価の補足説明> ・②NPO アジェンダ（自然部会）行事参加者数について、2024 年度は 100 人以上減少しましたが、2022 年度に比べると横ばいとなっています。これは 2023 年度に身近な生き物調査を複数回実施し、累積の参加人数が増加したためです。 ・めざす方向に向かっている指標がほぼ同数であることから「C」と判断しました。						

【歴史・文化】身近なところで、育んできた歴史・文化・景観を感じられるまち

項目	指標名	めざす 方向	2022	2023	2024	増減等
①統計や行政の 行動の指標	景観に関する協定件数	増加	2 件	2 件	2 件	0 件
	指定文化財数	増加	90 件	90 件	92 件	2 件
	保護樹、保護樹林数	増加	133 本 9 件	128 本 9 件	134 本 9 件	6 本 0 件
②市民・事業者 の行動の指標						
③構成団体 チェックシート	「歴史・文化」の行動提案の平 均実施率	増加	62.75%	63.54%	68.23%	4.69%
④市民参加の 質的な評価	豊中市が Instagram 投稿による景観フォトコンテストを実施し、受賞作品に よる景観フォトカレンダー「とよカレ」を販売しました。多くの市民による 応募があり、また、とよカレを通して市内の景観の魅力を広めました。					◎
【歴史・文化】の総合評価						B
＜総合評価の補足説明＞ ・めざす方向に向かっている指標が多いことから「B」と判断しました。						

※現時点では、市民・事業者の行動の指標が設定されていません。

【音・水・大気】騒音や有害な化学物質のない、きれいな水や空気があるまち

項目	指標名	めざす方向	2022	2023	2024	増減等	
①統計や行政の行動の指標	環境基準達成状況（大気・水質・道路騒音・航空機騒音）	増加	88% 96% 95% 14%	88% 97% 95% 14%	—	0% 1% 0% 0%	
	公害関係苦情件数（大気汚染・水質汚濁・騒音）	減少	99 件	104 件		112 件	8 件
	1 人 1 日平均給水量	減少	242 ℓ	240 ℓ		239 ℓ	△1 ℓ
②市民・事業者の行動の指標							
③構成団体チェックシート	「音・水・大気」の行動提案の平均実施率	増加	77.45%	70.31%	68.75%	△1.56%	
④市民参加の質的な評価	音・水・大気については、各家庭での実践により進められている部分が大きくなっています。引き続き周知啓発が必要です。					○	
【音・水・大気】の総合評価						C	
＜総合評価の補足説明＞							
・①環境基準達成状況は、2024 年度の数値が判明するのは 2025 年 7 月以降となるため、2023 年度の数値を直近の値として評価しています。なお、これまでは小数第 1 位までの値で公表していましたが、今回から整数での公表へと変更になりました。 ・めざす方向に向かっている指標がほぼ同数であることから「C」と判断しました。							

※現時点では、市民・事業者の行動の指標が設定されていません。